

整理 No.	
受付日	平成 年 月 日

## 森業・山業創出支援総合対策事業成果報告書

番 号  
年 月 日

財団法人都市農山漁村交流活性化機構理事長 殿

住 所  
団 体 名  
代表者氏名

印

平成 年 月 日付けで助成金の交付を受けた森業・山業創出支援総合対策事業について、別紙のとおりその成果を報告します。

記

1. ビジネスプランの名称： \_\_\_\_\_

2. 成果報告（別紙のとおり）

整理 No.	
受付日	平成 年 月 日

成果報告書

(単位：千円)

ビジネスプラン名称						
年 度		平成 19 年度	20	21	22	23
収 入  費 用  計 算	収 入	売上収入				
		知的財産権の譲渡等に 係る収入				
		収入合計 (A)				
	費 用	売上原価				
		販売直接費				
		販売間接費				
		一般管理費				
		買戻損失準備金 引当額				
		買戻損失				
		買戻損失準備金 取崩額				
		棚卸減耗				
		費用計 (B)				
	差引収益 (A-B)					
	当年度までの総事業費 (ΣB)					
助成金額 (森業・山業創出支援総合対策事業)						

注記は、別紙2 「成果報告書の記入上の注意点」を参照してください。

### 成果報告書の記入上の注意点

- ①. 本成果報告書は平成19年度から平成23年度まで（財）都市農山漁村交流活性化機構が毎年報告を受けることが義務付けられています。
- ②. 初年度の売上収入と売上原価、販売費、一般管理費の該当項目に記入してください。売上収入が無い場合0円としてください。
- ③. 売上収入：助成対象事業に係る収入額を記入してください。
- ④. 知的財産権の譲渡等に係る収入：本事業に基づく知的財産権の譲渡又は実施権の設定による収入がある場合は、その金額を記入してください。
- ⑤. 売上原価：①製品・商品の材料費（主原料、副材料、部品等、燃料費、製造過程の消耗品、消耗工具器具などの備品費）、②製品製造にかかわる労務費（賃金、給料、各種手当、福利費など）、③製品製造にかかわる経費（電気・水道・ガス代、旅費交通費、修繕費など）
- ⑥. 販売費及び一般管理費：総原価を計算するため販売直接費と一般管理費及び販売間接費とに分けて、販売直接費は売上に賦課し、一般管理費及び販売間接費は次期損益勘定に振替られるものです。
- ⑦. 販売直接費・販売間接費：販売員の人件費、広告宣伝費、運送費等、商品やサービスの販売過程において発生する経費を販売費といいます。販売直接費は特定の商品やサービス毎に把握できる費用、販売間接費は複数の商品やサービスの販売に共通して発生する費用になります。
- ⑧. 一般管理費：役員人件費、事務員人件費、保険料、支払修繕費、事務用消耗品、通信交通費、光熱費、交際費、地代家賃、減価償却費などです。
- ⑨. 買戻損失準備金引当額、買戻損失、買戻損失準備金取崩額：買戻損失を費用として見越計上する際は、これらの欄に記載してください。
- ⑩. 棚卸減耗：棚卸の結果、実際の在庫数量が、帳簿上の在庫数量より少ない場合、その評価損をこの欄に記載してください。
- ⑪. 初年度は、原則として実績報告（様式6号）で報告した事業支出の計を記載してください。
- ⑫. 助成金額：森業・山業事務局から交付された優良ビジネスプランの事業費に対する助成金の額を記載してください。